

目次

統括研究報告書

分析ガイドラインの改定に向けた費用対効果評価における方法論およびツール等の開発に関する研究 福田敬	1-8
---	-----

分担研究報告書

日本の公的分析における効用値の取扱いの実態と課題 下妻晃二郎	9-19
QALY shortfall の政策利用の動向とわが国への適用可能性 池田俊也	20-27
海外主要国における医療技術評価方法における代替エンドポイントの取り扱いの概要 石田博	28-50
医療技術評価における生成 AI・大規模言語モデル(LLM)の利用可能性 森脇健介	51-61
データベース研究のチェックリスト 赤沢学	62-66
費用対効果評価制度における公的介護費用の取り扱いについて 大寺祥佑、高士直己、 藤澤岬、岩本哲哉	67-70
NDB を用いた治療エピソードの抽出方法について 佐藤大介	71-85
介護者の QOL を費用対効果評価に含める際の諸問題に関する研究 能登真一	86-140

QALY(Quality-adjusted life year:質調整生存年)と障害者差別—医療資源配分の倫理的基盤
に立ち戻って— 齋藤信也

．．．．．141-164

公的介護費用に影響を与える社会経済要因の考察 田倉智之

．．．．．165-168

医療経済評価人材育成についての現状～慶應義塾大学 HTA プログラムを中心に～
後藤励

．．．．．169-173